

## 9 意識の共有化②（グループディスカッションの実施と効果）

冬の職員研修会におけるグループディスカッションの項目は、4つの大項目「保育の計画性」「保育の在り方、幼児への対応」「保育の在り方、3歳未満児への対応」「保育者としての資質や能力・適性」に絞り、アンケートにより職員の意見を確認し、グループ分けをしました。

約1時間のグループディスカッション後に、グループごとにまとめの発表を行いました。どのグループでも前向きな話し合いが行われ、初任者や栄養士も積極的に意見を述べてくれました。

特に、一つひとつの評価項目を確認し合う中で

「自己点検に取り組むことで、園業務について理解していない事も多かったのだと気づいた」

「評価はそれだけで終わるのではなく、努力すればよい結果もついてくるのだと分かった」

「他の職員の良いところを素直に言葉に出して確認し合う機会となったので、互いの良い所を認め合い、高め合う雰囲気大切にしたい」

「全クラス複数担任制や他施設との交流等、自園のよいところに気づいた」等の話し合いがなされました。

この話し合いを通じて、職種や経験年数の垣根を越えて、職員同士で互いの良いところを確認したり、他にはない自園の取り組みとその価値を再確認することが出来ました。教職員同士、日常の業務の中ではなかなか話す機会のなかった事まで踏み込んで話すことができ、自分達の行っている保育について「各自の振り返り」と「全員で共通認識」を持つ貴重な機会となりました。

自己評価の実施により、全教職員が共通の具体的指標を理解しグループディスカッションに臨んだので、活発な意見交換が可能となり、短時間はありましたが十分な成果を上げることが出来たのだと思います。



## 金城学園・若葉会教職員合同研修会 グループディスカッションのまとめ

(H22. 1. 9)

(幼稚園長1名・未満児保育園主任1名・認定こども園3歳以上児担当2名  
未満児保育園保育士1名・未満児保育園栄養士1名)

### I 保育の計画性

#### よくできていると思うこと

- ・計画を立てるだけでなく実際に担任・副担任の連携、子どもの様子、危険予知などについてシュミュレーションを行うようにしている
- ・保育計画(週案)の記録で、反省欄には改善策まで記入している
- ・他施設(未満児保育園・児童館・高齢者施設)との合同行事(納涼会お泊まり保育・運動会・作品展・お遊戯会・スキー教室等)計画を綿密に立てている
- ・詳細に計画を立てることにより、異年齢児交流(乳児から小学生・高校生との交流)や地域社会や自然との関わりが、無理なく自然に計画的に行われている
- ・園行事(歌や劇・ダンス)等で幼児の要望を取り入れたことで、子どもたちが意欲的取り組みようになり保育の幅が広がった

#### 気づいたこと

- ・認定こども園・未満児保育園・児童館・放課後児童クラブ・高齢者施設などの多種多様な施設利用者との交流や、施設利用(クライミングウォールや料理教室等)による様々な体験ができていること
- ・振り返りノートを書くことにより、子どもたち一人ひとりの関わりが更に詳細(月案・週案・日案・個人記録以上)に理解できた(関わりの濃淡や方法)
- ・異年齢児交流が自然に行われていることにより、挨拶やマナーなどに子ども自身が気づくようになった
- ・保育計画を細かく立てられるようになったことで、遊びの意味を保護者に自信を持って伝えられるようになった

#### 施設全体で改善したいこと

- ・認定こども園・未満児保育園・児童館・放課後児童クラブ・高齢者施設と連携し、行事を進めることができている→様々な経験ができる環境が整っているため、より施設を有効に使い保育を充実させたい
- ・保育の幅が広がっているため、毎日の生活で子ども達の細かな変化に気づけるようになると、更によりよい保育になると思う
- ・すべてのクラスに担任・副担任が配置されているメリットに気づいたので、計画・反省の中で担任・副担任の役割分担を明らかにし、連携が深められるよう今以上に細かな話し合いを持つようにしていきたい

## 金城学園・若葉会教職員合同研修会 グループディスカッションのまとめ

(H22.1.9)

(認定こども園総括主任1名・認定こども園3歳以上児担当2名  
児童厚生員1名・来年度新採用者1名)

### Ⅱ 保育の在り方・幼児への対応

#### よく出来ていると思うこと

- ・朝、登園してきた子の視診を細かく行えるようチェックシートを新たに作成したことで意識して行えた
- ・特に休み明けなど、自分から積極的に保護者へ体調の変化などを聞き出すようにした  
(バス送迎時や玄関当番時)
- ・1日に1回は副担任と気になった子どもの様子を話し合っている。(良い面・悪い面・成長した面など) 自己点検・自己評価に取り組んだことで問題をそのままにせず、その日のうちに解決しようと気をつけるようになった

#### 気付いたこと

- ・自己点検・自己評価のチェック項目を行うことで担任・副担任の連携は少しずつ取るよう心がけられるようになり、この関係を更に強化することで他クラスの保育へも目を向けられるようになるのではと思う
- ・遠慮せずに、気付いたことを伝え合い、互いに成長する糧としたい
- ・自分一人で解決しようと思いがちになり、他の先生に質問することを躊躇していたが、いろんな先生から話を聞くことで固定観念にとらわれてしまうことを防ぐことができると気付いた

#### 施設全体で改善したいこと

- ・自分一人で悩まずにいろいろな人の意見を聞こうとする姿勢を持つことで、固定観念にとられることを防ぐという共通理解が図りたい
- ・互いの保育へのアドバイスを遠慮しがちになるが、その人の為に「良かったこと」「こうした方が良かったのでは？」などを伝え合い、保育者間で情報の発信・受信を行うことを大切にしたい
- ・毎日の生活で子ども達の細かな変化を見逃さず、よりよい保育をしていきたい

## 金城学園・若葉会教職員合同研修会 グループディスカッションのまとめ

(H22.1.9)

(保育園園長1名・認定こども園3歳未満児担当1名・認定こども園3歳以上児担当1名・  
栄養士1名・未満児保育園1名・児童指導員1名)

### Ⅳ 保護者への対応・守秘義務

#### よくできていると思うこと

- ・なるべく勤務時間内で仕事を終わらせるよう努力することで、安易に書類・資料を持ち出さず守秘義務の遵守を心がけている
- ・自己点検・自己評価に取り組んだことで、保護者から得た情報を園長・主任に報告するだけでなく、保育者間でも伝えあい共通理解をもつようになり、連携が深まったと感じる
- ・保護者から寄せられた意見・要望には迅速に対応するようにしている
- ・どの保護者にも積極的に話しかけ、家庭での様子等について話していただけるようにしている

#### 気づいたこと

- ・守秘義務の大切さについて、施設全体で再確認できた
- ・自己点検・自己評価に取り組んだことで、これまで日常の保育の中で見落としがちだったことの意味に気づくことが多くなり、保護者に対応するときにも自信を持てるようになった
- ・自己評価後、園内研修（ディスカッション）で、経験年数や職種にかかわらず、普段あまり話すことのない保育についての思いを語り合うことができ、視野が広がった
- ・互いの良いところ、努力向上したところを伝え合うことで、自信がつくと同時に向上意欲もわくのだと実感できた

#### 施設全体で気づき改善したいこと

- ・秘密情報の管理の範囲について共通理解をもって取り組むことの大切さに気づいたので、分かりやすく明示していきたい
- ・パソコンで処理する仕事が多くなると、時間の使い方が難しい時もあるが工夫していきたい
- ・家庭との連携は難しい課題だが、子どものために必要なことは真摯に語り合い、協力していくべきだと思う

金城学園・若葉会教職員合同研修会  
グループディスカッションのまとめ

(H22. 1. 9)

(未満児保育園長1名・認定こども園主任1名・

認定こども園3歳未満児担当2名・未満児保育園保育士2名)

**Ⅶ 保育の在り方・3歳未満児への対応**

**よく出来ていると思うこと**

- ・自分のクラスのこどもに関しては、健康面の配慮や一人ひとりのみとり方、また保護者への支援などこまかに配慮が出来てきている
- ・こどもの成長や変化が理解できると保育者としての喜びを感じる
- ・指導的立場の保育者が保育に入ってアドバイスしてくれることで視野が広がり、遊びの環境設定なども計画的に行えるようになった
- ・基本的な生活習慣の配慮についてごく当たり前のことだが、個々にあった配慮を忘れずに行えている

**気づいたこと**

- ・自分のクラスのことについては自信が持てるが、他保育者にアドバイスするまでにはいかずにいるので、個人会議やクラス会議での話し合いで工夫が必要だと感じた
- ・自己点検項目を通じて保育の中で、自分が日常的に配慮したり、働きかけていることが大切な意味を持っていると再確認できた

**施設全体で改善したいこと**

- ・自分のクラスだけにとどめず、保育者間でこどものみとりや保護者への支援、環境設定など互いによい方法を見つけ合う関係を大切にしたい
- ・会議の中でのアドバイス方法や、個々への配慮事項の話し合いなど会議時間を有効に活用する
- ・他職員のよく出来ている点を見習い自分のものとする